

平成27年度評価問題「ゆうチャレンジ」(熊本県学力調査) 中学校第1学年 数学 出題のねらい等

連番	大問	中間	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と式	1年	A(1)ウ 正の数と負の数の四則計算	正の数と負の数の減法ができること。			○		○	
②		(2)		数と式	1年	A(1)ウ 正の数と負の数の四則計算	正の数と負の数の乗法ができること。			○		○	
③		(3)		数と式	1年	A(2)ウ 簡単な一次式の計算	簡単な一次式の減法ができること。			○		○	
④		(4)		数と式	1年	A(2)ウ 簡単な一次式の計算	分配法則を使って数と一次式の乗法、及び同類項をまとめることができること。			○		○	
⑤	2	(1)		数と式	1年	A(2)エ 式の値	文字式に数を代入して、式の値を求めることができること。			○		○	
⑥		(2)		数量関係	小6	D(4)イ 資料の調べ方	柱状グラフが表している数量を考えることができること。		○				○
⑦		(3)		量と測定	小6	B(3)ア 角柱及び円柱の体積	角柱の体積の求め方を理解していること。				○	○	
⑧		(4)		図形	小6	C(1)ア 縮図や拡大図	縮図を作図して、実際の長さを計算で求めようとしていること。	○					○
⑨		(5)		関数	1年	C(1)イ 比例の意味	具体的な事象の中にある比例関係を理解していること。				○	○	
⑩		(6)		関数	1年	C(1)エ 比例の表、式	2つの数量関係の表から比例の関係を見いだし、比例の関係を表す式を求めることができること。			○		○	
⑪	3	(1)		数量関係	小6	D(5) 起こり得る場合	起こり得る場合を求めようとしていること。	○					○
⑫		(2)		数量関係	小6	D(5) 起こり得る場合	多角形の辺と対角線を用いて、起こり得る場合を考えることができること。		○				○
⑬	4	(1)		数と式	1年	A(3)ウ 比例式の活用	比例式による値の求め方を理解していること。				○	○	
⑭		(2)		数と式	1年	A(3)ウ 比例式の活用	比例式による問題の答えの求め方を説明することができること。		○				○
⑮	5	(1)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いた数量の表現	文字式を用いた長方形の周の長さの表し方を理解していること。				○	○	
⑯		(2)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いた数量の表現	台形の面積を、文字式を用いて表すことができること。			○		○	
⑰		(3)		数と式	1年	A(2)ア 文字を用いることの必要性和意味	文字を用いて数量の関係を式に表し、台形の面積の求め方を筋道を立てて説明することができること。		○				○
⑱	6	(1)		数と式	1年	A(3)ウ 方程式の活用	方程式が表している数量の意味を考えることができること。		○				○
⑲		(2)		数と式	1年	A(3)イ 方程式	かっこが含まれた方程式を解き、問題の答えを求めることができること。			○		○	
⑳		(3)		数と式	1年	A(3)ウ 方程式の活用	具体的な事象の中に等しい関係を見つけて方程式をつくり、数量の関係を説明することができること。		○				○

※ 網掛けの問題は、平成26年度調査において課題がみられた内容の改善状況を見る問題として出題しています。